行列式の基本性質

[性質 1] |A'| = |A| (つまり、行に関する性質は、列についても成立する)

[性質 2] * 1つの行 (列) を c 倍した行列式の値は、 もとの行列式の c 倍になる.

[性質 3]

[性質 4] ★ 2つの行 (列) を入れ替えた行列式は、 元の行列式の (-1) 倍に等しい.

[性質 5]

[性質 6] \star 1つの行 (列) の c 倍を他の行 (列) に加えた行列式の値は、 元の行列式の値に等しい.

[**性質** 7] |AB| = |A||B|

クォータ科目「数学」第12回(担当:佐藤弘康)1/5

行列の基本変形(復習)

「行列式の基本性質 2, 4, 6」は、「行列の基本変形」と関連している.

— 行列の基本変形 —

以下の3つの行列の変形を「行列の基本変形」という;

- (a) ある行 (または列) の c 倍を別の行 (または列) に加える.
- (b) 2 つの行(または列)を入れ換える.
- (c) **ある行**(または列) を c 倍する.

これらの変形は基本行列 M ((a) A(i,j:c), (b) P(i,j), (c) M(i:c)) を左

(右) からかけることと同値(第10回スライドp.5を参照).

クォータ科目「数学」第12回(担当:佐藤弘康)2/5

行列式と基本変形

「行列式の基本性質 2, 4, 6」は、「行列の基本変形」と関連している。

→ 行列式の計算に、行列の基本変形を活用することができる.

— 行列の基本変形と行列式 —

- (a) ある行(または列)の c 倍を別の行(または列)に加えても行列式 の値は変わらない.
 - → [性質 6] に対応
- (b) 2 つの行(または列)を入れ替えると行列式は (-1) 倍される.
 - → [性質 4] に対応
- (c) ある行(または列)を c 倍すると, 行列式は $\frac{1}{c}$ 倍される.
 - → [性質 2] に対応

クォータ科目「数学」第 12 回 (担当:佐藤 弘康) 3/5

行列式と基本行列

• [性質 7] を用いて理解することもできる. 基本行列の行列式はそれぞれ

よって,

 $|A(i,j:c)A| = |A|, \quad |P(i,j)A| = -|A|, \quad |M(i:c)A| = c|A|.$

クォータ科目「数学」第12回(担当:佐藤弘康)4/5

行列式と基本変形(計算方法)

方針

- 行列式の [性質 2, 4, 6] を用いて、行列式を簡単な行列式に変形する.
- 例えば、0 成分 が多い行列に変形する ([性質 6] が重要な役割を果たす).
- 三角行列の行列式は、対角成分の積に等しい. (p.135 例 5 を参照)

$$\begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} & \cdots & a_{1n} \\ 0 & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \ddots & \ddots & \vdots \\ 0 & \cdots & 0 & a_{nn} \end{pmatrix} \qquad \begin{pmatrix} a_{11} & 0 & \cdots & 0 \\ a_{21} & a_{22} & \ddots & \vdots \\ \vdots & \vdots & \ddots & 0 \\ a_{n1} & a_{n2} & \cdots & a_{nn} \end{pmatrix}$$

上三角行列

• 一般の n 次正方行列の行列式も、同様の方法で計算できる

クォータ科目「数学」第12回(担当:佐藤弘康)5/5